

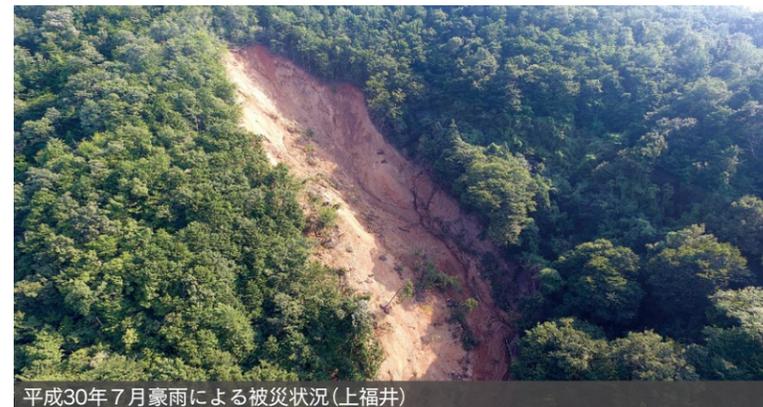
第7次舞鶴市総合計画に基づき、まちづくりの方向性や市の取り組み施策・事業をお伝えする「市政の今」。今回は多様な連携を生かした安全・安心のまちづくりについてお伝えします。



SDGs未来都市

自分の命は自分で守る

多様な連携と防災士養成で安心のまちづくり



平成30年7月豪雨による被災状況(上福井)



避難所での避難者想定ワークショップ(令和元年6月)

高まる大雨リスクと防災

日本中で増える豪雨災害。人の命に関わる全国的な課題として対策が求められる中、気象庁では「線状降水帯」の発生を予測し、半日前から気象情報で発表する運用が6月1日から始まりました。本市でも、内閣府による「市町村災害対応総合システム」のモデル自治体として取り組みを進めており、昨年にはオムロンソーシアルソリューションズ(株)、舞鶴高専、KDDI(株)と連携し、水位などの河川情報をイラストやグラフで確認できる「舞鶴市総合モニタリング情報配信システム」の運用を開始。今後は6時間先の避難情報を発信できるシステムづくりを目指しています。

自助・共助の大切さ

平成30年7月豪雨を教訓に、全国の自治体で住民の皆さんと一体となった防災意識の高い地域づくりが進められています。そのためには、地域での自助や共助の取り組みが何よりも重要です。市では、地域の皆さんとハザードマップを活用し、地域の危険箇所の把握、避難所や避難ルートの確認を行い、災害時に取るべき行動など、日頃からできる災害への備えや心構えについて話し合っ

ています。

これらの取り組みを通じて、地域の皆さんが協力して災害から自分たちで地域を守る「自主防災組織」の設立につながり、設立後の活動支援にも取り組んでいます。

防災意識の向上

また、市は舞鶴高専と連携して防災士の養成にも取り組んでいます。防災士は「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得しています。

舞鶴高専では、年々多様化、大規模化する災害に対応するためには、施設整備だけでなく、自助・共助・公助につなげていくために防災士の養成が欠かせないとの思いから、これまで過去7年間で学生280人が登録しています。今後は、市と連携した市民向けの防災士資格取得のための講座を開催予定です。

市では、これらの機会を通じ、防災士との連携で地域の防災力の向上を目指します。

住民は自分の命は自分で守る意識を持ち、行政は住民が適切な避難行動が取れるよう全力で支援するという考え方のもと、地域の皆さんと安全・安心のまちづくりを進めます。

INTERVIEW

舞鶴高専での防災士養成は東日本大震災がきっかけで始まりました。

高専は、最先端の大学などと競うレベルの研究は難しい面がありますが、そこに比べ学生教育に力を入れています。社会に出てから技術者として伸びる可能性、住民とコミュニケーションをとって土木事業の大切さを理解してもらい、社会基盤づくりをしていく技術者を育てたいと考えています。

また、災害は想定外のことも起こるので、ハード対策だけでは絶対に対応できません。「自分で行動できる」ことが最適解だと考えており、避難方法が分かっているれば命を守れます。防災士が増えると事前に災害時の対応について話せる人が増えます。地域で行動できる人材が増えれば地域の防災力が向上し、結果として舞鶴市の防災力向上につながります。

今後、地域の人たちに協力してもらいながら、研究としての防災に踏み込み、防災士養成も市民に広めていきたいと考えています。



舞鶴高専建設システム工学科 教授 加登 文学さん



ドローン測量の結果を3Dモデルの写真にする技術

INTERVIEW

街を歩いていても、土砂崩れを身近に感じることはありません。高専の授業で、その危険性に気づくことができました。こうしたことは学ぶ機会がないと興味を持っていないのかなと感じています。防災を考えていくうえで、これからは、被災状況などをドローンで撮影、測量、システムなどで解析し、そうした情報を住民に伝えていくことが大切だと思っており、そのスキルを身に付けるためこの研究をしています。



舞鶴高専建設システム工学科 5年 真木 航大さん

舞鶴高専へは建築を勉強したいと思って入学しました。ところが授業を受けているうちに土木の防災や、地盤などに興味をわき、自分が将来何をしたいか、人のために何ができるかを考えた時に一番興味があったのが防災だったので、地盤・防災研究室に入って研究をしています。普段の生活で防災を意識しないかもしれませんが、日常に少しでも防災の意識を持ってもらえたらと思っています。



舞鶴高専建設システム工学科 5年 鮫島 皓介さん



左から中村千尋さん、中西帆香さん、小笠原芳奈さん、松井心さん、上村藍さん、渡部妃麗さん

＜舞鶴高専女性防災士による防災座談会＞

高専では建築の勉強をしているので、防災のことも学んだら建築分野でも生かせるのかな。防災士の知識が、災害時にひとつでも人のためになればという意識が高まりましたね。

私は元々災害のことに興味があって。両親が阪神淡路大震災を経験していて、地震とか災害は身近にあるものだなと。

私の地元は南海トラフ地震で被害を受ける地域なので、心配というか、知っている自分も周りも避難しやすいかなと思います。家族とハザードマップを見て話し合いました。

自然災害はいつ起こるか分からないし、自分以外の人にも目を向けられたらなと思いました。授業では広く学んだので、もっと深掘りたいと思っています。

高専で資格取得するのは女性が多いですが、一般的に女性で防災士の資格を持っている人は少ないですね。

はい、女性だからこそできる取り組み、避難所運営など女性目線で気が付くことはたくさんあると思う。防災士という資格を通して社会参加や、いろんなイベントに取り組みたいです。

今度10月に開催の防災士養成講座は50人ほど申し込みが…。

舞鶴高専女性防災士 **そんなに多く！**

50人と聞いたら緊張してきたけど、防災は勉強して初めて知ることも多く、他の人が知らないことが多いと思うので、来てくれる人に防災のことを知ってもらえたら…！

防災士を取得すると防災への意識が変わります。一緒に楽しく防災を学びましょう！

舞鶴高専女性防災士